

2016年6月15日

## フクダ電子、オムロン・コーリンを子会社化

(フクダ電子:院内医療機器事業の強化を目指す)

医用電子機器の開発・製造・販売および輸出入を行うフクダ電子は、医療機器・医療システムの企画・開発・販売および診療支援サービス事業を展開するオムロン・コーリンの全株式をオムロンヘルスケアから取得し、子会社化する。

急速な高齢化が進む中、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現が求められ、また、医療事故防止および効率的かつ適切な治療の提供を目的にITを活用した医療システムの普及が進んでいる。フクダ電子は、このような市場環境の変化にいち早く対応するために本買収を行い、院内医療機器事業のさらなる強化を図っていくとしている。

オムロンコーリンは手術室向けの高性能な生体情報モニターに強みをもつ。買収によりフクダ電子の生体情報モニターの国内シェアは約3割となり、1位の日本光電の約35%に近づく。

以上